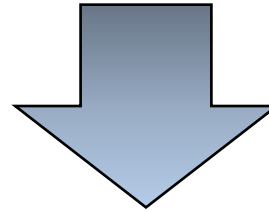


大川市教育大綱

《目指す人間像》

- 大河にはぐくまれた木の香るふるさとの伝統文化を継承し、人、社会とつながるひと
- 活力ある社会づくりに貢献し、新しい価値を創り出し世界に発信するひと



【施策推進の視点】

1. 社会総がかりで取り組む教育
2. 幼児期から生涯を通した教育
3. 大川の力を活かした教育

子どもたちの生きる力を育むため、幼児期からの連携教育や学校・家庭・地域が連携したバランスの取れた教育を進めます。

社会全体が激しく変化している中で、子どもたちが自立して生きぬく力を育むための教育を進める必要があります。
そのため、子どもたちの発達にあわせた連携教育や家庭教育の支援などの、学校・家庭・地域が連携し互いに支えあい、それぞれの責任と役割を果たしながら「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスの取れた教育をめざします。

特色ある地域の伝統文化を保全・継承していくとともに、大川市に誇りを持った活力あるまちづくりの主体となる人づくりを進めます。

少子高齢化が進む中、活力ある大川を将来の子どもたちに引き継いでいくためには、木の香りが漂う郷土の伝統と文化を尊重し、豊かな感性と創造性を育む必要があります。
そのため、大川を育んできた人たちを敬い、自らが育ったこの地を愛し、誇りと生きがいを実感できる人づくりをめざします。

市民が主体的な学習を通じて社会参画し、相互に支えあうための環境づくりを進めます。

市民それぞれのニーズに合った生きがいづくりや自己実現を支援し、学びと活動の循環につながる生涯学習を推進する必要があります。
そのため、共生の心の育成とともに、市民がいつでも学習できる機会と活動の場を提供し、新たな人材を育成する環境づくりに取り組み、地域社会における多様な協働の担い手育成をめざします。

学習機会の確保のため、安全安心な教育環境の確保を進めます。

教育行政を推進するうえで、安全で安心して学べる環境を確保する必要があります。
そのため、教育施設の安全性や将来を担う子どもたちをはじめ市民が安心して学習できる教育環境の確保をめざします。